



今回は茂木地区ネットワーク会議（10月20日）と地域ケア推進会議（10月29日）の内容についてご報告します。

テーマ：「自分の町って、どんな街？」

～「高齢になっても住み慣れた町でいつまでも暮らしていくために～」

【茂木地区ネットワーク会議】

平成27年10月20日（火）15:00～16:30

地域で活躍するグループの活動紹介をお聞きしました。また、茂木地区の良いところ、気になるところについてグループワークを行いました。茂木地区の民生委員さんと、ケアマネジャーなど約40名にお集まりいただきました。

活動紹介の様子



「宮摺なでしこ会」



「ひらまつおしゃべり会」



「白木地域力推進会議」



「彦見町見守りネットワーク」

4つの活動紹介では、活動を始めた経緯から活動の特徴・工夫や成果以外にも、さまざまなご苦労など当事者ならではの話しに参加者の皆さんも興味深く耳を傾けておられました。

また、認知症の方の在宅生活を支援した事例についても身近なケースとして受けとめ、グループワークでの活発な意見交換へとつながったようです。



茂木は近所同士の
付き合いの
よかところ

認知症の人が増えて
きたよねえ

近くで集まる場所
の欲しかねえ

茂木地区公民館 講堂で実施しました

○終了後アンケートより

- ・地域でのさまざまな取り組みがとても参考になった。
- ・自分達の所でも宮摺のような集まりを作っていきたい。
- ・介護保険で解決できない部分を地域で取組んでいきたい。
- ・民生委員の方々と直接会って話をするのができて良かった。
- ・地域での食事会（独居老人など）やサロンなどを開きたい。
- ・自治会、老人会、子供会、民生委員などで意見交換の場が必要。

【編集後記】

日頃から地域に密着した活動をされている民生委員の皆さんだけに、「自分の町」の「良いところ」「気になるところ」について貴重な意見や今後取り組んでみたいことへの意欲的な意見も出させていただきました。

また、ケアマネジャーさんにとっては地域実情に詳しい民生委員の皆さんと顔の見える関係作りができたようです。当包括支援センターも5年後10年後も安心して暮らせる町づくりに向けて、地域の皆様とともに力を合わせて取組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。